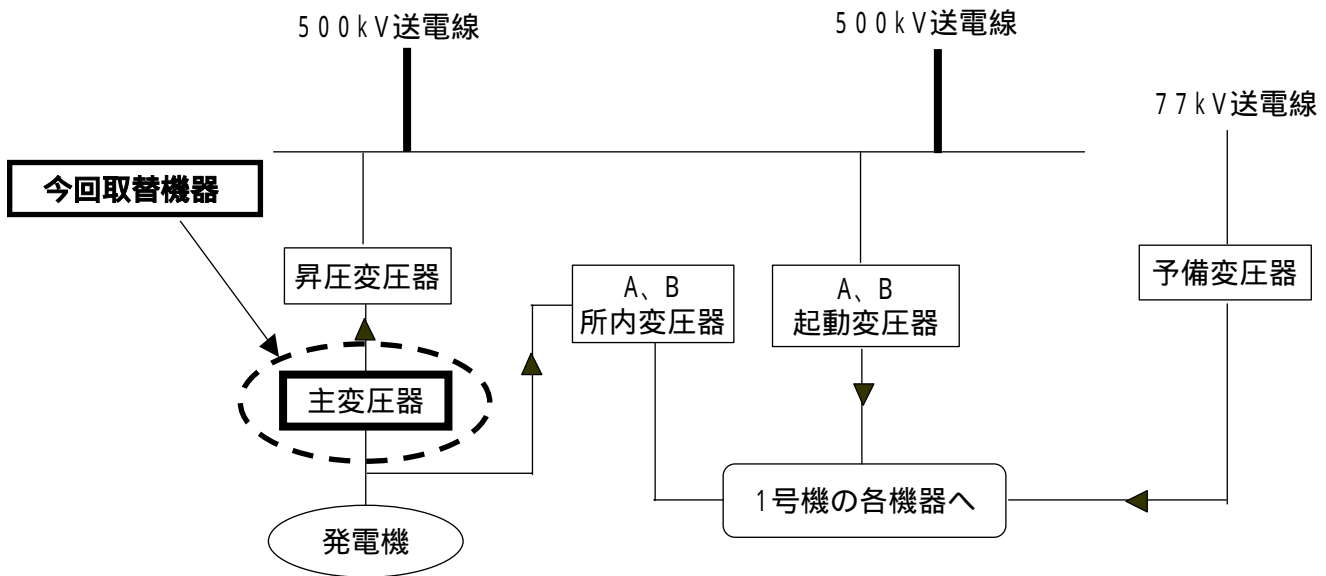


図 - 3 主変圧器取替工事概要図

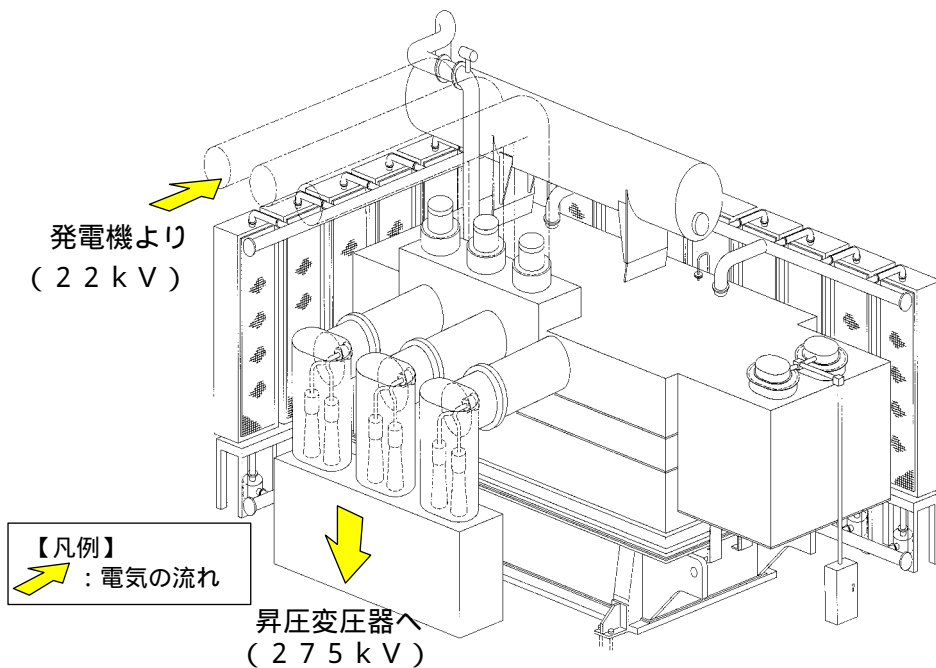
工事概要

主変圧器 のコイル絶縁性能が経年劣化の傾向にあるため、予防保全対策として主変圧器を取り替えた
主変圧器とは、電気を効率的に送電するために、発電機で発生した22kVの電圧を、275kVに昇圧し送電する
機器である。

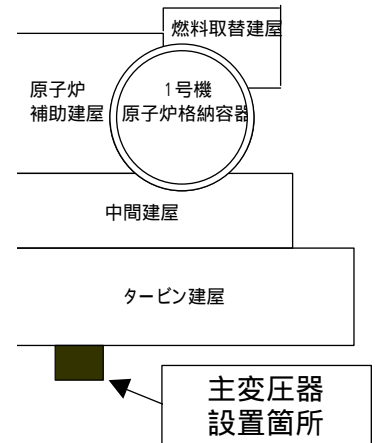
電源系統概要図



取替後の主変圧器概要図



主変圧器設置位置概要図



	取替前の主変圧器仕様	取替後の主変圧器仕様
定格電圧	高圧 275kV / 低圧 22kV	同 左
定格容量	860MVA ¹	900MVA ¹
冷却方式	導油風冷方式 ²	同 左
外形寸法(全体)	約14×約9.3×約8.4(m)	約13.5×約9.5×約8.4(m)

1：定格容量の増加に伴い、平成14年10月に国の確認を受けた「定格熱出力一定運転実施に伴う発電設備の健全性評価書」の電気設備の使用上限について健全性の再評価を行い、改めて経済産業省に提出し、平成16年5月13日に確認を受けております。

2：導油風冷方式

2 : 導油風冷方式

送油ポンプにより変圧器内部絶縁油を、変圧器本体と冷却器間で循環させ、冷却器により絶縁油を冷却する方式。